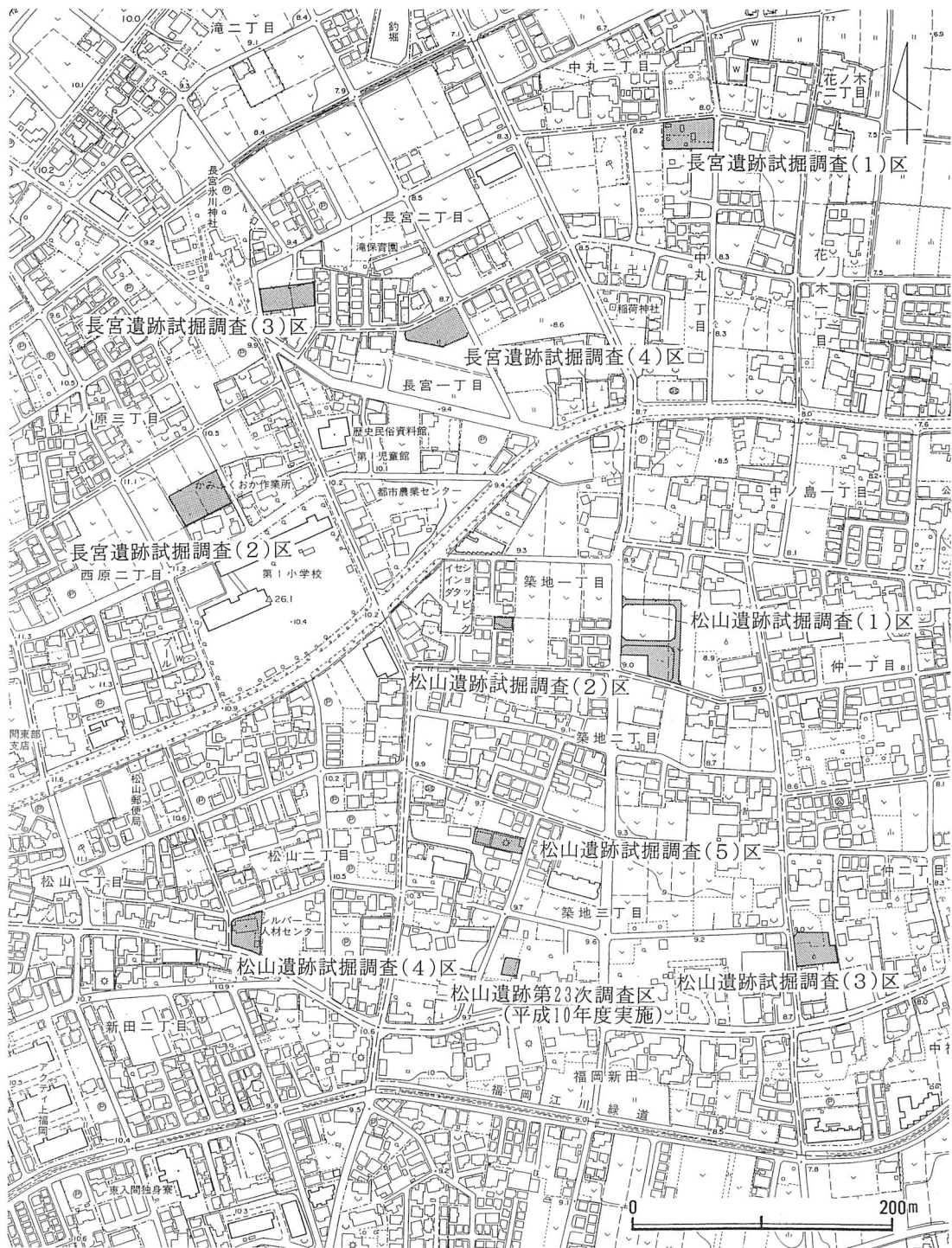




第1図 遺跡位置図 (1/15000)



第8図 長宮遺跡・松山遺跡調査区位置図 (1/5000)

XII 松山遺跡試掘調査(4)

所在地 松山 2 - 2 - 5

原因 共同住宅建設

調査面積 592㎡

調査期間 H12.10.30.

調査担当 柳沢健司

出土遺物 なし

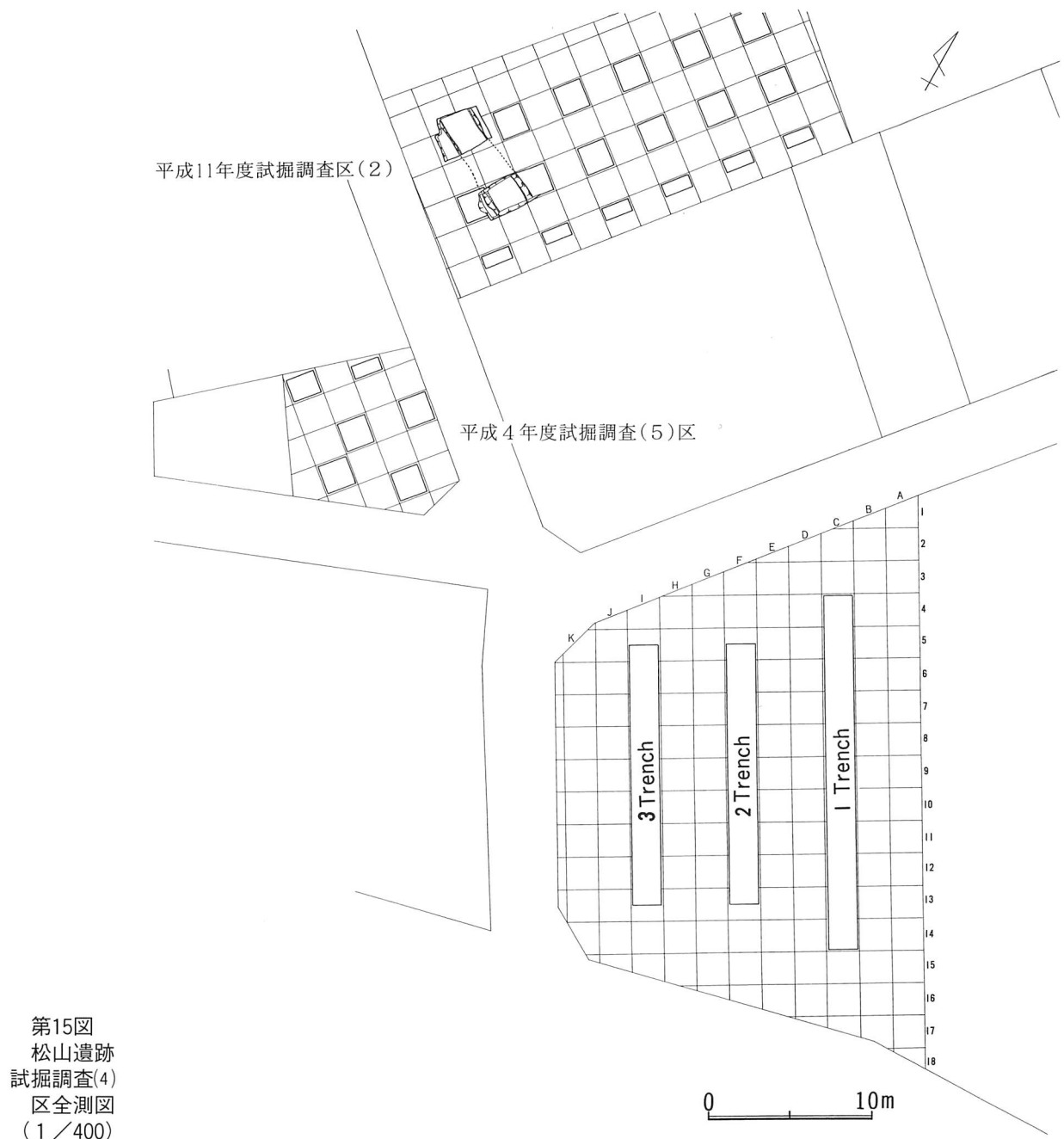
遺構等 なし

調査区の位置は、平成5年度に9世紀の住居跡（9号住）が確認された第15次調査区の南西60mの地点にあたり、平成4年度試掘調査(5)区の道路を隔てて南東隣に位置し、断面逆台形の溝が1条確認された平成11年度試掘調査(2)区の南40mの地点である。

10月30日、図面上でグリッドを設定し、現地にて図示したように4mおきにトレンチを設定し、重機にて表土除去作業を行い、人力にて精査を行なった。もともとシルバー人材センターのあった場所であるため地下の掘削が激しく、第1トレンチは表土を除去した位置から24mほどまで瓦礫であった。他のトレンチは、地表面からローム面まで60cmほどであり、おそらく旧建物の基礎と関連する瓦礫とともに茶褐色の堅緻な層が10～20cmほど覆っていた。遺構、遺物は確認されなかったので当日中に調査を終了し重機にて埋め戻した。



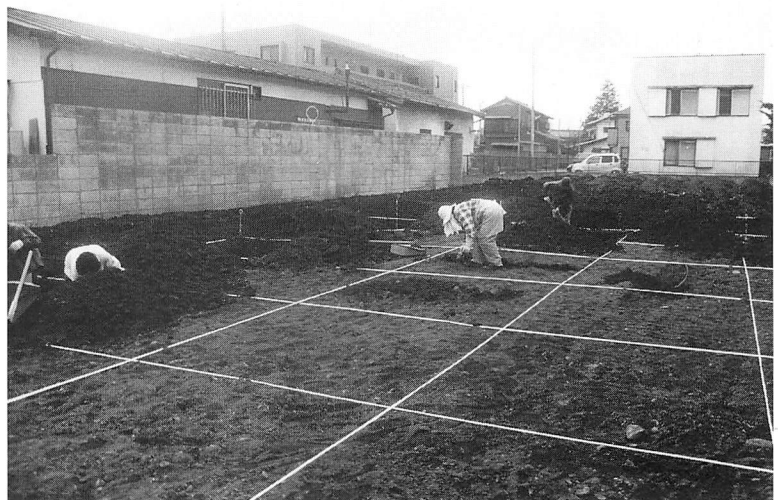
松山遺跡試掘調査(4)
遺構確認面精査風景(南東より)



第15図
松山遺跡
試掘調査(4)
区全測図
(1/400)

XIII 松山遺跡試掘調査(5)

所在地 築地3-1-28
原因 宅地造成(土地分譲)
調査面積 614m²
調査期間 H13.2.2.～13.
調査担当 柳沢健司
出土遺物 須恵器破片、土師器甕
遺構等 竪穴住居跡1軒、溝1条



松山遺跡試掘調査(5)表土除去作業風景(東より)